



新規受託項目

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白

記

● 項目名

- 胃がんリスク層別化検査 ABC 分類 【 検査項目コード 13414 】
 (ヘリコバクター・ピロリ抗体：ラテックス凝集比濁法)
 (ペプシノゲン I, II : ラテックス凝集法)

受託開始日 2020年4月1日(水) 受付分より

本検査は、2019年12月に認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構より発行された「胃がんリスク層別化検診(ABC検診)胃がんを予知・予防し、診断・治療するために」の掲載内容に基づくものです。

胃がんリスク層別化検査(ABC検診)で測定しているヘリコバクター・ピロリ抗体(H.ピロリ抗体/EIA法)につきましては、現感染や既感染を含む陰性高値が問題とされており、その問題点を無視できるとして認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構で推奨されている試薬(ラテックス凝集比濁法)を使用する検査を新設いたしました。

裏面に続きます



より正確に！
より迅速に！
地域に密着した検査体制

登録衛生検査所
一般社団法人
岐阜市医師会臨床検査センター
電話 058-255-1040

受託要領

	新	ご参考：現行コード内容
検査項目 コード	13414 (親) 胃がんリスクABC/LA	12891: 胃がんリスク層別ABC
	(子) 22666 胃のABC分類	12893: 同左
	—	12895: H.ピロリ抗体/EIA
	(子) 22667 H.ピロリ判定	21991: 同左
	(子) 22668 H.ピロリ抗体濃度	21992: 同左
	—	12896: ペプシノゲン/LA
	(子) 22669 ペプシノゲン判定	21993: 同左
	(子) 22670 ペプシノゲンI	21994: 同左
	(子) 22671 ペプシノゲンII	21995: 同左
	(子) 22672 ペプシノゲンI/II比	21996: 同左
	E判定対応	13416 H.ピロリ除菌歴有
検査項目名	胃がんリスク層別化検査ABC分類	同左
統一コード	3B346-0000-023-062	3B346-0000-023-920
検体必要量	血清 0.5mL	血清 1.1mL
容器	① → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3 ~ 4	4 ~ 5
検査方法	H.ピロリ抗体: ラテックス凝集比濁法 ペプシノゲン: ラテックス凝集法	H.ピロリ抗体: EIA法 ペプシノゲン: 同左
陽性判定基準	H.ピロリ抗体 : (+) 10.0U/mL以上 ペプシノゲン(PG): (+) PGI値が70.0ng/mL 以下かつPGI/II比が3.0以下	H.ピロリ抗体: (+) 3.0U/mL以上 ペプシノゲン: 同左
単位	H.ピロリ抗体濃度 : U/mL ペプシノゲンI・II : ng/mL ペプシノゲンI/II比: なし	同左
報告範囲	H.ピロリ抗体: 3.0未満 ~ 100.0以上 ペプシノゲン: PGI値 0.1以下 ~ 最終値 PGII値 0.1以下 ~ 最終値 PGI/II比 0.1 ~ 最終値	H.ピロリ抗体: 3.0未満 ~ 100以上 ペプシノゲン: 同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左
検査試薬名	H.ピロリ抗体: H.ピロリ-ラテックス「生研」 ペプシノゲンI: オートペプシノゲンI・BML-2G ペプシノゲンII: オートペプシノゲンII・BML-2G	H.ピロリ抗体: Eプレート「栄研」H.ピロリ抗体II ペプシノゲンI: 同左 ペプシノゲンII: 同左
試薬製造販売元	H.ピロリ抗体: デンカ生研株式会社 ペプシノゲン: 株式会社ビー・エム・エル	H.ピロリ抗体: 栄研化学株式会社 ペプシノゲン: 同左

依頼上の注意点について

- 除菌歴のある方は、「検査項目コード 13414: 胃がんリスク層別化検査 ABC 分類」と「検査項目コード 13416: Hピロリ除菌歴有」の2つの依頼コードを同時にご依頼ください。測定結果とともに判定 E を報告いたします。
- 「検査項目コード 13416: Hピロリ除菌歴有」のみでの依頼はできません。

【検査方法の参考文献】

三木一正: 胃がんリスク層別化検診(ABC検診)胃がんを予知・予防し、診断・治療するために 1~4, 2019.